

VOICE

Volunteers of International Communication & Exchange



VOL.68

発行日 2018年10月1日
発行 熊本県国際協会
〒862-8570
熊本市中央区水前寺6丁目18-1
熊本県国際課内
TEL 096-385-4488
FAX 096-277-7005
kuma-koku@cup.ocn.ne.jp
<http://www.kuma-koku.jp/>



1

国際協会活動報告

- 平成30年度総会について
- 国際事業部会の活動について

2

人物紹介

- 芦北町 竹崎一成町長

3

会員団体紹介

- 熊本むくげの会

4

トピックス

- 引き続き震災からの活動報告です
————— MATEインターナショナル倶楽部
- 第27回国際教育における夏季研修会の開催
————— 熊本県国際教育研究会
- 若い世代間での交流が深まる
～姉妹都市ヘイスティングズ市から高校生訪問団来町～
————— 大津町・大津町国際交流協会
- 八代市の友好提携都市との交流活動について
————— 八代市

5

お知らせ

- 新規入会団体の紹介
- 「第25回熊本国際交流祭典」の開催について

6

会員団体行事予定

Kumamoto International Friendship Festival 2018

第25回熊本国際交流祭典 2018

25to Festival Internacional de Kumamoto

第25回熊本国際交流祭典

入場無料 Admission Free

11/24 (SAT)
11:00 ~ 16:00
in 健軍商店街

クイズで景品がもらえるよ!!
Try the quiz and win prizes!

（内容）
ステージ披露、世界のグルメ、パザー、国際交流・協力活動などのパネル展示、着物・煎茶体験コーナー、外国民族衣装試着や餅つき体験、スタンプラリー、フェイスペインティングなど

県内の国際交流・国際協力団体が集まります。ご家族やお友達とお気軽にお越しください。

当日お手伝いしていただけるボランティアも募集しています!!

異文化体験!
Try out cultural activities from around the world!

主催：KIA 熊本県国際協会 TEL096-385-4488 共催：健軍商店街組合

第25回熊本国際交流祭典フライヤー

◆ 平成30年度総会について

2018年5月14日、くまもと県民交流館パレアで、平成30年度熊本県国際協会総会を開催しました。当日は会員78団体（うち委任状25団体）の出席のもと、平成29年度事業実績・収支決算及び本年度の事業計画・収支予算についての審議が行われ、全ての審議について承認されました。

議事終了後は、「国際スポーツ大会開催に向けて」、「九州産交による桜町再開発の概要とインバウンド事業の取組みについて」を演題に講演会を開催しました。



山部理事長挨拶



九州産交ツーリズム（株）
代表取締役小高氏による講演の様子

国際協会役員名簿

※下線は新理事

役 職	所 属 団 体	氏 名	
会 長	熊本県知事	蒲 島 郁 夫	
副 会 長	熊本市長	大 西 一 史	
副 会 長	熊本大学学長	原 田 信 志	
理 事 長	熊本県協力隊を育てる会	山 部 征 三	
総務企画部会	副理事長 部 会 長	熊本アイルランド協会	藤 門 豊 明
	理 事	熊本市北部国際青年交流会	上 村 勝 代
	理 事	公益財団法人 熊本YMCA	神 保 勝 己
	理 事	熊本むくげの会	毛 利 秀 士
	理 事	熊本ユネスコ協会	谷 口 博 通
	理 事	熊本日伯協会	上 野 淳
	理 事	崇城大学	草 壁 克 己
	理 事	熊本県ユニセフ協会	杉 光 啓 子
国際事業部会	副理事長 部 会 長	MATEインターナショナル倶楽部	酒 井 陽 子
	理 事	熊本大学	高 島 和 希
	理 事	熊本県日韓親善協会	松 崎 幸 子
	理 事	熊本県国際農友会	五 嶋 義 行
	理 事	熊本県立大学	堤 裕 昭
	理 事	(一社) 熊本青年会議所	大 館 敬 七 郎
	理 事	東海大学	石 岩
理事兼 事務局長	熊本県国際課	波 村 多 門	
監 事	人吉市国際交流協会	赤 山 武 興	
監 事	熊本学園大学	佐 藤 勇 治	
相 談 役	熊本むくげの会	筑 紫 汎 三	

(任期：2018年5月14日～2019年5月10日)

◆ 国際事業部会の活動について

国際事業部会では、2018年2月24日に意見交換会を開催しました。当日は、たくさんの方々に出席いただき、今後の国際交流祭典及び2019年の熊本国際スポーツ大会への関わりについて広く意見交換し、各々の得意ジャンルを活かし、ボランティア育成や団体イベント企画等の情報交換で親睦を深めました。また、6月28日にくまもと県民交流館パレアで開催された国際事業部会事業提案会では、会員団体から提案された事業のうち、7事業が採択され、助成することになりました。



国際事業部会の意見交換会にて

◆ 人物紹介

今回は芦北町国際交流協会会長でもある芦北町竹崎一成町長を紹介します。

— 芦北町が国際交流に力を入れるきっかけ —

私は平成6年12月に町長に就任し、「国際化の時代にふさわしい人材の養成」という政策を打ち出し、「わが町にとって、国際化や国際交流は如何にあるべきか?」について有識者に提言してもらいました。そこには「先進諸国を知ること」と「発展途上国を知ること」を軸に、「次の時代を担う青少年を中心に国際教育を行うべきである」ということが書いてあり、この答申書をもとに、現在まで国際化・国際交流事業を続けております。

— 取り組んでいる事業 —

まずは、平成8年から行っている「英国派遣事業」です。これまで19回行い平成25年度から現在まで中高校生48人を含む144人派遣しております。

次に、平成12年6月に、町職員が海外協力活動などに参加しやすくするため、当時九州の町村では初めて派遣中の身分と帰国後の職場復帰を保障する青年海外協力隊の派遣条例を制定しました。その結果、現在まで3名が派遣され、帰国後も町職員として国際交流活動に尽力してくれています。

その他にも外国人を積極的に受け入れるなど様々な国際交流事業を実施し、平成8年12月に設立された「芦北町国際交流協会」では、カンボジア学校建設募金活動を行っております。町内の小中学校の協力も多く、佐敷小学校では、子供たちの提案で各教室をお店のブースにして家庭から持ち寄った不用品販売のチャリティーバザーを行い、募金に貢献してくれています。また大野小学校ではサラダ玉ねぎとお米を作り販売し、その売上げを募金に充てています。その他、内野小学校では「内野っ子まつり」で募金を行っております。お蔭さまで今日までの募金総額は約3,200万円に上り5校分の資金をカンボジアに贈ることができました。現在6校目建設に向けて引き続き活動を続けております。

— 芦北町の国際交流のこれから —

私たちが残したものを、受け取る子供たちは「未来からの使者」です。そういう理念を持っていればおのずとやるべき政策は見えてきます。これからも国際化・国際交流事業をはじめた20年前と変わらない姿勢で取り組んでいきたいです。



佐敷小学校チャリティーバザー



大野小学校サラダ玉ねぎ販売



カンボジア学校建設5校目贈呈式

プロフィール

昭和22年3月21日生まれ。芦北町出身。福岡大学法学部卒業後、会社員、芦北町議会議員を経て、平成6年に旧芦北町長。平成17年に合併して誕生した新芦北町の初代町長に就任し、現在に至る。また熊本県町村会副会長および全国山村振興連盟会長代行を務める。週1回は水泳。空手道2段、柔道5段、クレー射撃の指導資格を持ち、マンドリン、クラシックギターの演奏のほか、書道をたしなむなど文化にも広く親しむ。

◆ 熊本むくげの会

「熊本むくげの会」（筑紫汎三会長）は、「韓国に対する正しい認識と理解を深め、文化、芸術、スポーツを通じて、民間レベルの友好交流を進めよう」という趣旨で、毎月1回例会を開き、今年で創立40周年を迎えた日韓交流を続ける民間交流団体です。

2001年1月26日、東京山手線新大久保駅ホームで線路に転落した日本人乗客を救助しようとして線路に飛び降り、電車に撥ねられ死亡した日本人カメラマン関根史郎さんと、韓国からの留学生李秀賢イ・スヒョンさんの出来事が国を超えた友情として大きな反響を呼びました。熊本むくげの会は李秀賢さんの功績を讃え、その後毎年1月26日を1月例会日と定め、荒尾市金剛寺赤星住職様に法要を務めていただき偲ぶ会を続けています。

創立記念日の2018年6月13日、韓国より蔚山広域市の蔚山南区文学会の皆様をお招きして、日韓交流祝賀会をKKRホテル熊本で開催しました。祝賀会には、韓国総領事館より金要燮ウルサン副総領事、熊本県国際協会より山部理事長にご出席いただきました。

また、熊本むくげの会は創立40周年記念行事の一環として韓国の定型詩「時調」を日本語と英語に翻訳し、韓国の蔚山南区文学会、むくげの会文学アカデミー、DK出版社が共同制作した日韓詩集【沈香】を発行しました。時調は作者の感性と情緒と自然と生活のリズムが調和した音数で集約されている定型詩です。時調の翻訳は世界的にも珍しいことで、翻訳者の尚絅大学の中川明夫教授（熊本むくげの会員）は、「リズムは違えど、定型詩を持つ日本と韓国、この詩集をきっかけとして、真摯なる日・韓文化交流が推進されることを願ってやまない」と述べています。文化的にも優れた韓国定型詩を世界に向けて紹介し、相互理解を深めたいと思います。

熊本むくげの会は、これまで文化や歴史をテーマに、相互訪問するなど、韓国の人たちと交流を行ってきました。筑紫会長は、「文学は人格を香りあるものに高めるもの。ぜひ若い世代が受け継いでほしい」と語っています。今回の出版をきっかけに、蔚山南区文学会と「文学アカデミー」を発足させて、これからも時調の作品の翻訳・刊行を続けていきたいと思っています。



韓国人留学生李秀賢さんを偲ぶ会



熊本むくげの会事務局長 反後 英治

◆ 引き続き震災からの活動報告です

震災からこれまで、益城復興支援に訪れた27ヶ国の方と共に活動する中で、言葉は様々でしたが、仮設で暮らす人達と熱心に触れ合う姿に深い感動やひと時の寛ぎを味わいました。また、今後のケアやサポートの課題についても認識でき、とても励みになりました。そして、身内を心配して来熊した諸外国の方々に熊本の観光をご案内して、日本文化を楽しんでもらい、熊本を気に入って頂き、笑顔で帰国されました。



益城町仮設で生活している子供達と交流



地震後、在熊の妹さんに初めて会いにいらしたメキシコ人家族



復興支援や現状の説明を受ける外国人ボランティア

MATE国際ナショナル倶楽部(略称MIC)代表 酒井 陽子

◆ 第27回国際教育における夏季研修会の開催

熊本県国際教育研究会(川上哲也会長)では、国際教育における夏季研修会として毎年海外日本人学校から帰国された先生方に海外の様子を聞く研修会を行っています。本年度も8月7日フードパル熊本において、夏季研修会を開催いたしました。昨年および今年3月に海外日本人学校より帰国された8名の先生方による海外生活での体験談や日本人学校の事情などを発表していただきました。また、イスタンブール日本人学校へ派遣された稲葉先生ご家族からトルコ料理を、上海日本人学校へ派遣された上田先生のご家族から上海料理を提供していただきました。ポスターセッションでは、各国で使用されたものを展示していただいたり、フリートークで各国の日本と考え方が違うところや日本人学校の様子を知ることができ、参加者は海外の生活に触れることができるいい機会でした。



ポスターセッションでアメリカの様子を説明する上野先生



民族衣装を着て上海料理を振る舞う上田先生のご家族

熊本県国際教育研究会 北原 史善

◆ 若い世代間での交流が深まる ～姉妹都市ヘイスティングズ市から高校生訪問団来町～

2018年5月、大津町の姉妹都市米国ネブラスカ州ヘイスティングズ市から、ジェシカ・ヘンリーヘイスティングズ大学教授、および高校生10人が来町し、大津町国際協会員宅などにホームステイしながら、9日間の交流プログラムで親交を深めました。

姉妹都市から高校生訪問団が来町するのは今回が初めて。若い世代間での交流を深めてほしいという思いから、町内の高校訪問など、学生同士の交流をメインにプログラムを企画。

県立翔陽高等学校では着物の着付け、木工ペンダント作り、盆景作りの体験や、書道・茶道の部活動にも挑戦。町内の学生が、英語での自己紹介、礼儀作法を教えるなど、さまざまな体験を通して打ち解け合いました。

県立大津高等学校では、柔道・剣道、英語、家庭科の授業に参加。英語の授業では、町内の学生が身振り手振りを交えながら英語で積極的に質問し、お互いの文化への理解を深めました。

今回のプログラムを通してヘイスティングズ市高校生訪問団は、「たとえ話す言葉は違っても、熊本のみならずつながりを持てたことがうれしい」「歴史や文化も違うけれど、日本とアメリカには多くの共通点があることを学んだ」と笑顔で滞在を振り返っていました。



授業中英語で質問し合う生徒たち



大津町・大津町国際交流協会

◆ 八代市の友好提携都市との交流活動について

八代市は、1996年3月5日に中国・広西壮族自治区北海市と友好都市協定を締結して以来、毎年双方において訪問団の派遣・受入を行いながら交流を行っています。

昨年度の活動は両市の中学生がホームステイや文化交流を行うことを目的とし、八代市から8名の中学生、北海市から9名の中学生が双方の市を訪れ交流を行いました。ホームステイ以外にも八代市の学生は、北海市の中学校の授業体験をしたり、北海市の学生は八代市が建設している環境センターの見学を通して環境学習を行ったり、市内中学校で習字の授業体験をするなど充実した交流となりました。今後とも八代市と北海市は充実した交流活動を進めてまいります。



北海市にて現地の学生とレクリエーション



八代市にて習字体験を行う北海市中学生
八代市市長公室国際課

◆ 新規入会団体の紹介—— 一般社団法人 韓日文化交流センター熊本

この度、入会しました（一社）韓日文化交流センター熊本です。当センターでは、主に韓国総領事館の業務を代行しながら、熊本在住の韓国人や韓国人旅行者の支援、韓国への留学相談・韓国語の通訳と翻訳・文化教室の開催など、韓日の架け橋を担っております。

2018年10月21日は、熊本県民総合運動公園スポーツ広場に運動会を開催しますので、ぜひお越しください。

*****業務内容*****

1. 韓国総領事館業務を代行（旅券申請、戸籍整理・取寄せなど）
2. 韓国語の翻訳・通訳の業務、韓国文化・ハンブル・料理教室
3. 在日韓国人の相続に必要な書類の取寄せ・法律相談
4. 韓国訪問に必要なビザ（査証）申請を代行
5. 韓国人旅行者支援、韓国への留学の手助け



◇お問合せ先◇

〒860-0821 熊本市中央区本山 2-2-4
 TEL 096-359-0022 / FAX 096-359-1717
 E-mail ; kumamoto@mindan.org

◆ 「第25回熊本国際交流祭典」の開催について

熊本国際交流祭典は、今年も開催します！

日時 11月24日（土）10:00～16:00

場所 熊本市健軍商店街（ピアクレス）

**入場
無料**

当日は、ステージ披露、世界のグルメ、バザー、国際交流・協力活動などのパネル展示コーナーのほか、着物、外国民族衣装の試着や餅つき、煎茶などの体験コーナー、スタンプラリー、フェイスペインティング等内容が盛りだくさん！

ご家族やお友だち同士、お子様から大人までどなたでも楽しめますよ！ぜひご来場ください♪

（※写真は過去の様子）



「第25回熊本国際交流祭典」

当日運営ボランティアスタッフ募集中!! 【応募締め切り】11月1日

詳しくは、熊本県国際協会HPをご覧ください。事務局までお問い合わせください。

■ 熊本県国際協会 事務局 TEL:096-385-4488 FAX:096-277-7005

URL: <http://www.kuma-koku.jp/> E-mail: kuma-koku@cup.ocn.ne.jp



会員団体行事予定

(2018年9月～2019年3月)

事業名	開催日時・場所	事業内容	主催・連絡先
YMCA ユースフェスタ	2018年10月20日(土) 16:30～19:00 熊本YMCA中央センター 1階レクホール	国内外でYMCA活動に参加したユースによる活動報告会。参加費500円(アジアの大衆料理付き)	熊本YMCA国際事業部 096-353-6397
第20期市民講座 「ヨーロッパのふるさと: ケルト(アイルランド)の心」	2018年10月27日(土) 14:00～15:30 株お菓子の香梅 帯山店 ドゥ・アート・スペース	伊藤利明氏 熊本高専熊本キャンパス共通教育科教授の講座を開講します。	熊本アイルランド協会 笹原元子 096-366-5151 http://www.kumamoto-ireland.org/
	2018年11月17日(土) 14:00～15:30 場所同上	『ハーン、母の記憶とふるさとへの想い』(朗読とおはなし)	
ソフィア・キブルスカヤ (ハーブ)演奏会	2018年11月22日(木) 15:30開場/16:00開演 水前寺成趣園古今伝授の間	数々の国際コンクールを制しマリンスキー劇場の首席奏者に抜擢。ヴァレリー・ゲルギエフが愛でるサンクトペテルブルクの琴姫、初来日。	熊本アイルランド協会 笹原元子 096-366-5151 http://www.kumamoto-ireland.org/
セント・パトリックス・ ディ・パレード熊本2019	2019年3月9日(土) サンロード新市街	アイルランドのシンボルカラーである「緑」を身に付けたボランティアの団体及び個人によるパレード	熊本アイルランド協会 笹原元子 096-366-5151 http://www.kumamoto-ireland.org/
第17回芦北町国際交流まつり	2018年11月11日(日) 道の駅芦北でこぼん	ステージイベント、外国料理のキッチンカレー、民族衣装の試着など盛りたくさんです。 Ashikokukyou.com	芦北町国際交流協会 事務局 山川望 0966-82-2511
第11回 日米協会国際シンポジウム 熊本大会	2018年11月15日～17日 くまもとホテルキャッスル	日米の協会合わせ64協会及び在日米国人が一同に会しての国際シンポジウム http://jaskumamoto.com/	熊本日米協会 事務局長 新道欣也 096-326-3312
ユニセフセミナー2018 「私たちは次世代に美しい地球を残せるでしょうか?」	2018年11月18日(日) 13:30～16:00 熊本市現代美術館 アートロフト	子ども達が安心して暮らせるために、私たちが今やらなければならないことを考えます。 講話・企業の取り組み・ワークショップ	熊本県ユニセフ協会 事務局長 保田清美 096-362-5757
第40回 「ユニセフハンド・イン・ ハンド」募金	2018年12月8日～9日 14:00～16:00 熊本市と近郊、及び八代市の 11ヶ所	世界の子ども達を救うために、高校生を中心に街頭募金を行います	熊本県ユニセフ協会 事務局長 保田清美 096-362-5757
第15回能楽ワークショップ 及び講演	2019年1月27日(日) 県民交流館パレア	外国人留学生等に能楽を紹介する	熊本ユネスコ協会 事務局 青濱伊津子 096-333-2704
第45回文化財を見る会	2019年3月2日(土) 県央方面	外国人留学生等に県内の文化財を紹介する	熊本ユネスコ協会 事務局 青濱伊津子 096-333-2704 ※講師等の都合で変更になる場合があるため、事前にご確認ください

広報誌「VOICE」の編集委員

上村勝代(熊本市北部国際青年交流会)、神保勝己((公財)熊本YMCA)、草壁克己(崇城大学)、杉光啓子(熊本県ユニセフ協会)、谷口博通(熊本ユネスコ協会)、藤門豊明(熊本アイルランド協会)、毛利秀士(熊本むくげの会)、協会事務局